

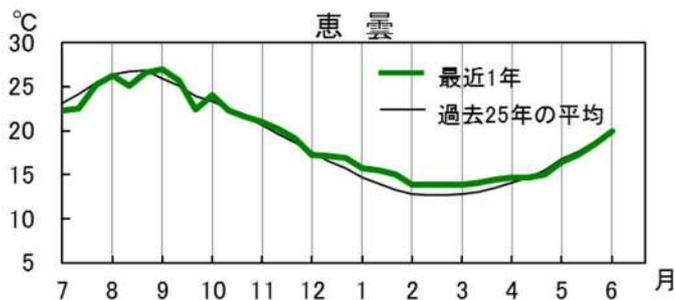
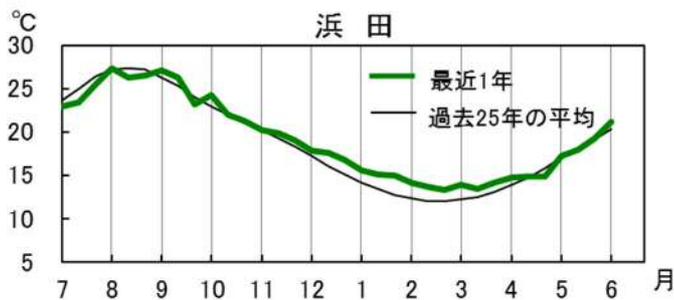


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《5月の海況》



5月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	平年並み	18.2℃	+0.1℃	平年並み	17.5℃	-0.4℃
中旬	平年並み			平年並み		
下旬	平年並み			平年並み		



《5月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ、サバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は7.9トンで平年を大きく下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは65トンで平年の2割、サバ類は55トンで平年の5割でした。隠岐地区ではマイワシ、マアジ、サバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は63.9トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、マイワシは3,638トンで平年の1.3倍、マアジは2,747トンで平年の8割、サバ類は1,275トンで平年の2.8倍でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではスルメイカ(全体の75%)主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は261kgで平年を上回りました。西郷地区(属人5トン以上)ではスルメイカ(全体の100%)主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は217kgで平年を上回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではケンサキイカ、キダイ、ムシガレイ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は14.1トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の1.9倍、キダイは平年の1.5倍、ムシガレイは平年の1.1倍でした。その他、アナゴ・ハモ類は平年の1.5倍、マトウダイは平年の3.1倍と好調でしたが、ソウハチは平年の1.1倍、アカムツは平年の1.1倍、スルメイカは平年の1.0倍、アンコウは平年の8割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではソウハチ、アカムツ、アナゴ・ハモ類主体の漁況で、総漁獲量は153トンでした。1統1航海当りの漁獲量は763kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ソウハチは平年の9割、アカムツは平年の5割、アナゴ・ハモ類は平年の4割でした。その他、マトウダイは平年の1.4倍、キダイは平年の1.0倍でしたが、スルメイカは平年の5割、ニギスは平年の3割、ヒレグロは平年の4割、ムシガレイは平年の5割の水揚げに留まりました。

【定置網漁業】

出雲地区ではブリ、マアジ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は27.4トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、ブリは平年の8割、マアジは8割でした。石見地区ではブリ、マアジ、ケンサキイカ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は20.4トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の1.7倍、マアジは7割、ケンサキイカは1.6倍でした。隠岐地区ではブリ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は28.9トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の6割でした。

【釣・縄】

出雲地区ではケンサキイカ、サワラ類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は27kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の3倍、サワラ類は平年の1.2倍でした。石見地区ではケンサキイカ、ヒラマサ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は19kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、ケンサキイカは2.2倍、ヒラマサは平年並みでした。隠岐地区ではスルメイカ、ブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は29kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、スルメイカは平年の1.7倍、ブリは平年の6割でした。

【令和2年5月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	マアジ、サバ類	134トン	59%	34%	7.9トン	59%	34%	▲
	隠岐	マイワシ、マアジ、サバ類	8,623トン	148%	114%	63.9トン	152%	109%	○
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	10.9トン	8,687%	220%	261kg	827%	153%	◎
	西郷	スルメイカ	25.0トン	86%	133%	217kg	119%	166%	◎
沖合 底びき網	浜田	ケンサキイカ、キダイ、ムシガレイ	281トン	115%	124%	14.1トン	115%	117%	◎
小型 底びき網	大田	ソウハチ、アカムツ、アナゴ・ハモ類	153トン	60%	52%	763kg	116%	113%	◎
定置網 (大型)	出雲	ブリ、マアジ	357トン	79%	91%	27.4トン	79%	91%	○
	石見	ブリ、マアジ、ケンサキイカ	87トン	141%	94%	20.4トン	141%	94%	○
	隠岐	ブリ	87トン	92%	54%	28.9トン	92%	54%	▲
釣り・縄	出雲	ケンサキイカ、サワラ類	53トン	122%	73%	27kg	116%	87%	▲
	石見	ケンサキイカ、ヒラマサ	30トン	86%	75%	19kg	96%	99%	○
	隠岐	スルメイカ、ブリ	23トン	66%	75%	29kg	90%	111%	○

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

※ 大型定置網漁業のCPUEは1統当り漁獲量です。

- ※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ
「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ
「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ
「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ